

アウトリーチ実地研修

NPO法人 若者と家族のライフプランを考える会

1. 実地研修先紹介
2. 実地研修内容
3. 実地研修で学んだ事

1. 実地研修先紹介

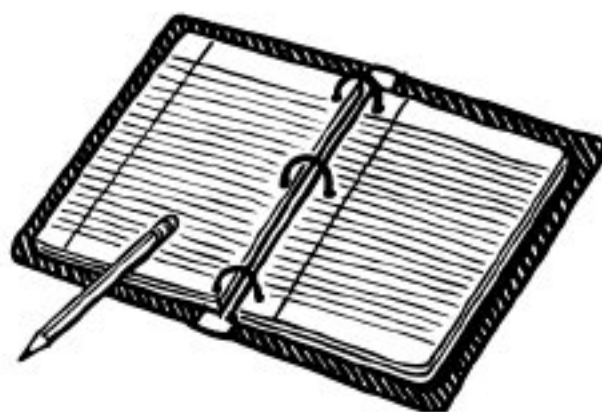


特定非営利活動法人 ピアサポートネットしぶや

渋谷区という賑やかな場所で、地域の方々とのつながりを大切にしながら、不登校やひきこもり等、生きづらさを抱える方々の支援を実施。



2. 実地研修内容



相談

当事者さんのご家族の方が相談に来所。

ご家族の方々の願いもある中で、本人さんの希望を、どの程度まで叶えるのが適切なの悩んでおられる様子。

本人さんの希望・ご家族の方々の希望の共通点・相違点を理解し、本人さんにとって最善の支援方法を一緒に導き出していく様子を見学。

ご家族の方の帰られる時の表情はもちろん、その後の「相談を受けるって、けっこうエネルギーが要る事。相談に来られたからには、来た時よりも元気になって帰ってもらわなければ意味が無い」という理事長の言葉と、やりがいに満ちた笑顔が印象的だった。

学習支援

様々な原因により、勉強が少し苦手な利用者さんに、マンツーマンで勉強を教えたり、苦手な科目や作業を理解しつつ、どの様に勉強を進めていけば良いかを一緒に考えたり、学習全般に関するサポートをされている。

1人1人の利用者さんが、それぞれの課題を抱えながら、一生懸命学習に取り組んでおられた。

資格を取得するために、難しそうな分厚いテキストを読み込んだり、実際に模擬問題に挑戦したり、学習支援の時間を最大限に使ってスキルアップを目指しておられる姿が、とても刺激になった。

地域とのつながり(ネットワーク)

- ①学校連携 東京都立広尾高等学校訪問
- ②ファンイン活動 「パートナーシップでつながる
やわらかなネットワーク」
- ③「渋谷の遊び場を考える会」
「渋谷はるのおがわプレーパーク」を訪問
- ④家族セミナー 発達障がいのある子どもさんを育てて
おられるお母さんのお話
- ⑤地域と連携しながら進める就労支援 「together」
青山学院大学訪問

訪問支援(アウトリーチ)

理事長とピアサポーターさんの2人でアウトリーチに行かれ、その時の様子を聴かせて頂いた。

この実地研修で直接アウトリーチを行う機会は無かった(初回の訪問で、本人もご家族もナーバスな状態ということで、アウトリーチに同行することはできなかった)が、お話を聴き、その状況を思い浮かべたり、ピアサポーターさんの緊張や当事者さんの気持ちを想像したり、改めて「アウトリーチ」について考える有意義な時間だった。

「アウトリーチに行ったとして、こんな状況になったら、どうする?」と聞かれ、その状況を想像しては焦ってしまい、ちゃんとした答えは全くと言って良い程導き出せなかった。

実際、そんな状況になったら、当事者さんを傷つけてしまったり、家族の方を不安にさせてしまうかも知れないと考えた。

改めて「アウトリーチの難しさ」を痛感した。

3. 実地研修で学んだこと



「ネットワーク」の大切さ

「連携」と「ネットワーク」の違いとは・・・？

「連携」・・・必要に応じて繋がる

「ネットワーク」・・・個人の繋がり

「ネットワーク」という言葉に感じた「温かさ」

損得や見返りを気にせず、ただただ誰かのために繋がり合っている。

行政やNPOだけでなく、それらも含めた地域全体で当事者さんや家族の方々に寄り添う事が出来る環境。

あまり深く考えず、同じようなニュアンスで使っていたが、かなりの違いがある事に気づかされた。

「アウトリーチ」の捉え方

ピアサポートネットしづやさんにおけるアウトリーチの考え方

「アウトリーチは、今までもこれからも、福祉領域や誰かを支援するという事においてとても重要なもの」だと思っていたけれど・・・

「アウトリーチは、あくまでも支援方法の1つであって、主役ではない」

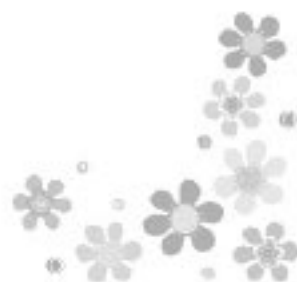
アウトリーチを行って信頼関係を作る事がゴールではなく、それによって当事者さんに元気になってもらい、社会に復帰してもらう事が目的。
アウトリーチを行う事自体が目的ではない。

当たり前の事だけれど「アウトリーチ、アウトリーチ・・・」と重点に置きすぎてしまっていたかも知れないと気づかされた。

最後に・・・

たくさんの方々に支えられながら実地研修に参加させて頂きました。

実地研修で学んだ事を活かしながら、感謝の気持ちを忘れずに
いたいと思います。



研修生^⑩
特定非営利活動法人
ピアサポートネットしづや

内閣府アウトリーチ研修 実地研修

● 研修期間：11月21日～12月1日

● 研修先：ピアサポートネットしづや